

フッ素樹脂塗料のメリット

・生涯リフォーム回数が減る

一般的な塗料は10年ほどの寿命ですので、20年間の間に2回、30年間の間に3回塗り替えを行うのであれば、断然長寿命なフッ素塗料の方がお得という計算になります。

塗装費用は高価ではありますが、耐用年数が物凄く長いので長い目で考えると物凄くお得です。

何度も外壁塗装工事を行うと、その際にかかる仮設工事の回数も増えます。

仮設工事削減や環境等を考えると、今の時代にとっても非常に適した外壁塗料です。

生涯リフォーム回数を減らす事が出来るのは物凄いお得となり、気を使ったりする事も減るので建主さんは心理的にも楽になります。

・新築のような光沢の綺麗さ

フッ素塗料は親水性を高める為に、ツヤあり塗料となります。

ツルツルのピッカピカになるので、まるで新築のような綺麗な光沢の塗膜となります。

建物全体が豪華に見えるので、古くなった建物でも見違えます。

フッ素樹脂塗料のデメリット

・費用が高い

まだまだ需要と供給が少ないので、費用が安価にならないデメリットがあります。

業者にもよりますが、シリコン塗料で㎡当たり1,800円程、フッ素塗料が㎡当たり3,000円程という大きな差があります。約1.6倍もの差がありますが、費用の高さには劣らない素晴らしいメリットで充分にカバーできると言えます。

しかし、初期費用を捻出出来る費用が限られている場合は、採用は難しいと言えます。

・フッ素塗料に建物への延命効果は無い

フッ素塗料の素晴らしい効果を勘違いし、フッ素塗料を塗布すれば建物の寿命が長くなると勘違いしている方もいるようです。

あくまで高度な機能性塗料という事であり、今にも壊れそうな建物にフッ素塗料を塗布しても建物の寿命を長くする事には繋がりません。

・ツヤありしかない

フッ素塗料は、ツヤあり塗料しかありません。

「マットなツヤなし」が好みの方には、フッ素塗料は不向きです。

少なくとも3分ツヤ以上ですので、ツヤの妥協が出来ないのであればオススメ出来ません。

フッ素塗料にツヤがある理由は親水性に大きく関わっているので、ツヤなしでは効果を発揮しません。

かなりピッカピカな塗装になりますので、まずはサンプルで光沢の状態を確認する事をオススメします。

樹脂別に見た期待耐用年数の違い

	期待耐用年数	塗替目安
フッ素樹脂塗料	20年	15～20年
パーフェクトトップ	15年	10～15年
シリコン樹脂塗料	13年	7～13年
アクリル樹脂塗料	6年	3～6年

期待耐用年数：素材、旧塗膜に致命的な影響を与えない状態を維持できる期間

塗替目安：美観維持が出来ておらず、塗膜表層の劣化が始まって来る期間

***上記年数は、保証年数とは異なります。**

注意事項

各年数は地域性、立地条件、色彩等により差異が生じる可能性があります。

また、素材により異なりますが、屋根等の条件的に厳しい部位での塗替え目安年数は一般(壁面)の約1/2～2/3の年数になります。